

39 期 2023-2024 年度 浜名湖ロータリークラブ週報

例会会場：浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県浜松市北区三ヶ日町下尾奈 200 TEL・FAX 053-524-1177
E-mail hamanako@hamanako-rc.com HP http://hamanako-rc.com

例会日：毎週火曜日 12:30～13:30

会 長：中村 哲也 幹 事：中尾 有希子 公共イメージ委員会委員長：近 藤 茂

第 1762 回例会 2024 年 3 月 26 日 (火) 雨 VOL.39 週報 No.27

点鐘：中村 哲也 会長 SAA：石原 淳 ソング♪それこそロータリー

本日のプログラム：40 周年・IM 準備委員会担当プログラム

四つのテスト唱和：柴田 浩

本日のゲスト：浜松市副市長 朝月 雅則 様

会員数 40 名 / 免除会員数 0 名 / 計算総数 40 名 / 本日の出席数 24 名 / 暫定出席率 60.0%

会長挨拶 * 中村 哲也



前回の会長挨拶では「人が生きる目的は何か」、「何のために人は生きているのか」という少々変な話題を取り上げましたが、その後、色々学んだことがありますので今日はその続きをお話したいと思います。人というのは限られた時間の中で日々幸せになるための選択をしています。どんな人も幸せ、喜び、安心を求めて生きています。幸せには 2 つの形態があると言われていす。それは相対的な幸福と絶対的な幸福です。

相対的な幸福とはお金、健康、地位、名誉、趣味、家族、結婚、就職などを通して得られる幸福です。人生の中で、その時その時にこれがあつたらいいなと求め続けて生きています。子供ができた時、マイホームを持ったとき、幸せを感じるのですが、その幸せは一時的で、続かない。新築の家も持ったら持ったで維持や管理で大変、手に入れる時が幸せのピークで、あとが続かない。あるいは、お金はあつても、もっともっとと限りがない。また、これらのものは生きていればこそで、死ぬ時は何も持っていない。日々求めて、あくせくと頑張っているけれど、最後は裏切られるということです。

一方で絶対的幸福とは、死が訪れても揺るぎない幸福、何が起ころうとも動じない、心の幸福、これが真の幸福というものかもしれませんが、これは一体どんな幸福なのか？

世界的文豪で思想家のトルストイは、生きる目的は幸福になること、人は幸福が続くことを求めている。しかし、その幸福を妨げるものが 3 つあると述べています。1 つは醜い争い、2、享楽 (煩惱)、3、死であり死に対する不安だと。トルストイも真の幸福、絶対的幸福を追求したのですが、結局わからず、晩年仏教に何か答えがあるかもしれないと考えたようですが、深く理解することはなかったようです。哲学者ニーチェも人が生きるということ、人生の意味を追求したのですが、同じく仏教にも関心を持ちながらも途中で精神をやみ死に至りました。

一方で人が生きる目的を明確にしたのは仏教の浄土真宗を説いた親鸞です。親鸞の弟子の唯円が、親鸞の教えを書物にした「歎異抄」に詳しく書かれています。歎異抄は司馬遼太郎が無人島に一冊だけ本を持っていくなら歎異抄だと言ったように、多くの作家、世界の哲学者、思想家を魅了させています。20 世紀最大の哲学者と言われるドイツのハイデガーも歎異抄を高く評価しています。難解な書物なので、平易に解説されている「歎異抄をひらく」という本は一読の価値があると思いますので皆さんにもおすすめします。

親鸞は平生業成の教えを説かれたのですが、「煩惱あるがままで絶対の幸福になれる」と言っています。煩惱を断つことができない私達でも、阿弥陀の他力を心より信じ、往生できると確信する瞬間、絶対の幸福を得られると親鸞は断言されています。「弥陀の本願は、煩惱あるがままで、死んだらどうなるか分からない闇の心をぶち破り、往生一定とハッキリした絶対の幸福に救い摂る、無上の誓願だからです。」これを「無碍（むげ）の一道」と言いますが、それが人生の目的であり、「生まれてきてよかった」と生命の大歓喜が起きるのです。そうすると南無阿弥陀仏と感謝の念仏を唱えずにはいられないと。

ということですが、私の話では何を言っているか、わからないかもしれませんが、私もよくわかりませんが、何となくそういうものかと理解しています。

さて、別の角度から「生きるとは」ということについては、とてもわかりやすい本にガネーシャというゾウの神様が登場する「夢をかなえるゾウ」というシリーズで500万部以上売れたベストセラーがあります。読んだことがある方も多いと思いますが、1、2はドラマ化もされ小栗旬、水川あさみが出演しています。この中でもシリーズ4はわかりやすく「生きるとは」というテーマが掘り下げられています。



P7 ロータリー活動から
みる世界のせつ環境
P16 RI 会長エレクトイ
ンタビュー
P20 感染症との闘い

<縦組み>

P4 福島に職住を定めた私

P9 この人訪ねて

スマイル報告

中村哲也 浜松市副市長朝月雅則様、本日はよろしくお願ひいたします。

中尾有希子 本日の卓話、浜松市副市長の朝月様、よろしくお願ひいたします。

穴水春男 裏山のミヤマツツジが咲いております。ご家族で見に来てください。

佐原功一郎 浜松市副市長朝月雅則様、ようこそお越し頂きました。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

白井繁充 朝月副市長様、本日の卓話宜しくお願ひします。

近藤 茂 朝月副市長様、本日は遠路お越しいただき感謝申し上げます。同窓会気分です。よろしくお願ひします。

杉山寿夫 朝月副市長様、本日は遠路ありがとうございます。宜しくお願ひします。

幹事報告 * 中尾有希子



*配布物:

- ・1760回・1761回週報
- ・ロータリーの友3月号
- ・本日の卓話資料

*回覧物:

- ・ハイライトよねやま Vol.288
- ・花のリレープロジェクト資料

本日のプログラム

【40周年・IM準備委員会担当プログラム】

卓話講師：浜松市副市長 朝月 雅則 様

演題「浜松市の行政区再編について」



委員会報告

公共イメージ委員会 委員 菅沼 秀介

- ・ロータリーの友3月号の紹介

<横組み>

P4 RI 会長メッセージ

② 区再編の意義・目的

自治体を取り巻く状況

- 人口減少・少子高齢化のさらなる進行
- 激変する社会経済状況や市民ニーズへの対応
- デジタル化の急速な進展

将来を見据え、持続可能な行政サービスの維持・強化策について検討

⑥ 区再編後のサービス提供体制(区政担当副市長を天竜区へ配置)

本庁

天竜区役所

特命事項
中山間地域振興に関すること

- 全部局が関わる
- 高齢化・少子化、高齢化対策
- 小規模、高齢化集落の維持
- 林業の再生
- 歴史的・文化的資産を活用した地域づくり
- 社会基盤格差の是正
- 保健、医療、福祉の確保
- 防災対策の強化 など

本庁所管副市長

区政担当副市長

特命事項
中山間地域振興に関すること

近名区長
中央区長

天竜区長
中山間地域振興担当課長

全区を統括し、最適な区政運営を推進

1 遠州広域行政推進会議の概要

目的

遠州地域における行政課題に関し、首長同士で率直な意見交換を行うとともに、基礎自治体の連携により、広域的行政課題におけるコストの低減やサービスの向上を目指す。

【構成】
静岡県西部地域(遠州地域)の8市1町※の首長
※浜松市、磐田市、掛川市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、牧之原市及び森町

【設立年月日】
平成23年7月4日(第1回会議)

【開催回数】
開催回数:年2回程度

戦略の体系

戦略の柱	項目	方向性
観光地域づくり	地域との連携	この地域の観光にインベーションを
	事業者支援	頑張る事業者を応援
観光資源の効率的なPR	情報発信	心惹かれる「今」の情報を
	営業強化	今ある観光資源に価値を高めるストーリーを
観光DXの推進	ICT活用	体験プログラム販売力の強化
	ビッグデータ活用	来訪のきっかけづくりと再来促進
		マーケティング活動の効率化と最大化



れ、会長幹事はじめ 18 名で参加してまいりました。除幕式に続き、参加していた他団体の方々と一緒にあじさいの植栽活動を行いました。ご協力ありがとうございました。



※新聞記事は裏面掲載

活動報告

3月3日(日) 職業奉仕委員会
「花のリレープロジェクト」
【アスモ前駅】キックオフ式典と植栽
「花のリレープロジェクト」の新たな担当区域となるアスモ前駅にて、アダプトサイン除幕式が行われ

プログラム案内

- 4月9日(火) 合同観桜会 (ホスト: 浜北伎倍 RC)
18:30~受付 19:00~21:00 会場: エストリアル
- 4月16日(火) 次年度計画検討 クラブ奉仕
- 4月23日(火) 特別休会
- 4月30日(火) 祝日週休会
- 5月7日(火) 戦略計画担当プログラム 理事会

アジサイ咲く駅へ 苗100本植栽活動

デンソーと浜名湖RC

天竜浜名湖鉄道アスモ前駅で3日、天浜線沿いの植栽運動「花のリレー・プロジェクト」のキックオフ式典が行われた。同駅に隣接したデンソー湖西製作所と、浜名湖ロータリークラブ(RC)が協力団体として参加した。同日は関係者約40人が集まり、アジサイの苗100本を植えた。



線路沿いにアジサイの苗を植える参加者―湖西市岡崎の天竜浜名湖鉄道アスモ前駅

同プロジェクトは浜松いわた信用金庫と天竜浜名湖鉄道、浜松フラワーパークの3団体が中心となり取り組む活動。同製作所が1日に副駅名のスポンサー契約を結んだことに続き、植栽活動にも賛同して参加が決まった。式典参加者は事前に整地されたホーム沿いの全長約50メートルの範囲で、苗を1本ずつ手作業で植えた。同プロジェクトの植栽場所は19カ所目。浜名湖RCはこのうち3カ所で草取りなどの整備に協力している。

静岡新聞 令和6年3月4日(月曜日)掲載

天浜線を華やかに

アスモ前駅にアジサイ植栽

天竜浜名湖鉄道の駅や沿線に住民らが花や樹木を植えて育てる「花のリレー・プロジェクト」の活動が湖西市のアスモ前駅であった。費用を寄付した浜松いわた信用金庫や、今後花壇を手入れするデンソー湖西製作所、浜名湖ロータリークラブの関係者がアジサイを100本植栽した。(河野貴子)



線路脇の花壇にアジサイを植える参加者―いずれも湖西市で

副駅名お披露目



副駅名を記した新たな駅名板

計50人ほどが参加。線路脇に生い茂っていた雑草を刈り、土壌改良して事前に整備していた花壇に植えた。2017年に始まったプロジェクトの19番目の植栽地。花を植えることで地域を活性化し、鉄道利用者を増やそうという趣旨に賛同し、これまでに延べ135団体が活動に加わったという。今回参加したデンソー湖西製作所はアスモ前駅に隣接しており、同駅のネーミングライツ(命名権)を購入。1日、副駅名(愛称)を「デンソーのモーター生産地」とお披露目した。契約は2026年3月末まで。デンソー(愛知県刈谷市)は駅名の由来になった自動車部品メーカー・アスモの親会社。18年4月にアスモを吸収したが、駅名はそのまま残った。天浜線の全39駅中、契約が成立した副駅名が付いたのは13駅目。

中日新聞 2024年3月7日(木曜日)掲載